令和6年度 大館市立城南小学校 学校評価書(前期)年度)

A 学校教育目標

ふるさとに学び、どの子どもも喜んで活動する学校

B 目指す学校像

- 1 児童一人一人が自分の幸せを支える力を高める学校
- 2 保護者が安心して我が子を送り出せる学校
- 3 職員が自ら磨き、チームで子どもの成長を支える学校 4 地域に笑顔で協力してもらえる学校

C 学校経営の特徴

- 響学プラス シンカする授業づくり
 - 〇主体性と学び合いのある授業づくり
 - OICTを活用した響学プラス
- 一人一人を伸ばす 集団を伸ばす
 - ○挨拶・返事・言葉遣い等、生活の基本的な約束の徹底
 - 〇所属感、有用感がもてる児童会活動
- ふるさとの未来につなぐ今 3
 - ○変化する時代や社会に目を向けたプロジェクトJの推進
 - ○地域人材の積極的な活用



創立150周年 大運動会



創立150周年記念講演 「夢と向き合う」 NASAジェット推進研究所 エンジニア 大丸 拓郎氏







D 評価

児童の 状況

自己評	きわめて良好	∸ ¬ ==	5	実現状況は極めてよく意識も高い/数値目標に対し100%以上達成
価Aと	良好	自己評 価Bの	4	実現状況は良好で意欲もある/数値目標に対し80~99%達成
外部評	おおむね良好	評価基	3	実現状況はおおむね良好/数値目標に対し60~79%達成
価の評	やや不十分	進	2	実現状況はやや不十分で取組が不安定/数値目標に対し40~59%達成
価区分	努力を要する] '	1	実現状況は不十分で努力を要する/数値目標に対し39%以下の達成

工_自主的・自律的な生活

1	77	7E		
児童の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
明るく心のこもった挨拶 をし規律ある落ち着いた 生活を送りながら、主体	前期	やや不十分	やや不十分	4・5・6年の一部の児童の集中力のなさが目立つ授業が見られた。また、同じ学年でも学級による雰囲気の差も感じた。 一部の児童や保護者への対応は大変だと思うが、毅然とした対応が必要である。2学期になり、学担を曜日によってチェン ジするなど、対策をとっているようなので、今後の改善に期待したい。学担以外でも、この先生とならしっかりと話ができると いう関係性も大切にしてほしい。
性や責任感をはぐくもうとしている。	年度			

学己 校評 の価 改の

【前期(→年度)】(1)について→あいさつマスターの表を活用しているが、校内外での挨拶レベルは弱いと感じる。「されて嬉しく感じる のはどんな挨拶かな。」と、集会や学級での話合いを通して、必要感をもたせる指導を徹底したい。(2)(3)について→学年目標を意識 しながら、様々な活動に取り組むことができた。集会や給食時間の放送、生徒指導便りを使って安全指導の啓発をしているが、児童が 自分事として考え、実践できているとは言い難い。児童会活動では、メディアに関わる「ぼく・わたしたちのマイルール」をつくった。ルー ル遵守の指導とともに、児童が主体的に決めたルールを基に、自分たちの行動を見つめていくことができる活動の充実を図りたい。

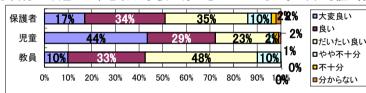
【年度(→次年度)】

善概 策要

評価指標	実践課題	主な取組		平価B
11 四1日7水	大战阶级	工・なれたが正	前期	年度
1 基本的な生 活習慣	(1)校内外での元気な挨拶	挨拶運動(児童、保護者、職員)、「めざせ!城南あいさつ マスター」の実施、学級活動や集会など学校生活全般を通 した指導	2	
	(2)規律ある落ち着いた生活	社会規範やルール遵守の指導(城南っ子生活の約束、生徒指導通信)		
2 集団生活· 集団活動	(3)集団の一員としての自覚ある言動	学級活動の充実、当番活動、係活動、各種行事、委員会活動の推進、学年集会の実施、ふれあい集会、城南オリンピック	3	

[1に関するデータ]

〇自分から進んで、地域や学校であいさつしているか。(平均値 保護者3.48 児童4.08 教員3.48)



【あいさつの視点】 あいさつマスター

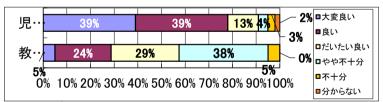
の奨励。

レベル5・・・だれにでも レベル4・・・自分から進んで

レベル3・・・目を見て レベル2・・・元気な声で

レベル1・・・おじぎをつけて

○きまりを守って落ち着いた学校生活を送っているか。(平均値 児童4.01 教員2.86)



◇ぼく・わたしたちのマイルール(児童会)

3

2

********** **88**

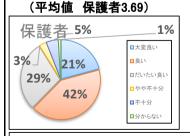
- *メディアに関わるルール
- ◇「城南っ子生活の約束」の配付
- ◇学年集会の開催・昼の放送での呼びかけ
- ◇生徒指導通信「城南っ子」の配付
- ◇委員会による呼びかけ

[2に関するデータ]

〇子どもは、学校が楽しいと 話しているか。

○学級のみんなのために、係や当番、委 ○集団の一員としての自覚ある 員会の仕事をがんばっているか。 (平均値 児童4.28)

行動をしているか。 (平均値 教員3.57)



5% 1%2% 児童 ■大変良い 自由口 7% ロだいたい良い □わわ不十分 30% 56% ■不十分 ■分からない

教員 0%^{0%}5% □大変良い □良い □だいたい良い 48% ロやや不十分 48% □不十分

【あいさつ運動の取り組み】 保護者のあいさつ運動と登校指導(5~10月) 学年毎のあいさつ運動(7月)

小中合同あいさつ運動(7月と8月)

【児童総会で「ぼく・わたしのマイルール」を話し合う】 ①週1回はゲームをしない日をつくろう!

~家族との会話や自然にふれる時間をつくろう

②ねる前にやらずに早ね早おきをする!



ア 児童の状況

Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

エー心し・ピックル・/こ	1 一次の・とうのいい。 /こくないのい							
児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント				
自分のよさや他人のよさ を認め合い、切磋琢磨し た学校生活を送り、豊か	前期	おおむね 良好	H # (縦割り搬送時をとてもうまくやっているように思う。道徳の授業が全員参加という雰囲気がよいと思う。支援を要する児童への指導対応について、やや不十分としている教員が10%ほどいる。どんな対応が足りないのかを確認して、今後の取組に生かしてほしい。				
な人間性をはぐくもうとしている。	年度							

校自 「前期(→年度)】(4)(5)について→「キラッとさんロード」を継続し、児童同士で認め合う場をつくり、お互いに目に見える掲示をしている。生徒指導通信を活用し、保護者にも紹介している。この活動がマンネリ化にならないよう、工夫して取り組む必要があるし、児童のといる。生徒指導通信を活用し、保護者にも紹介している。この活動がマンネリ化にならないよう、工夫して取り組む必要があるし、児童の活場所でくりと絆が深まる学級経営を促していく。道徳指導については、授業の学びが子どもたちの実生活に結びつく学びになるように、授業の充実を図っていきたい。(6)について→特に問題行動や支援を要する児童への対応について、一人一人の困り感に寄り添しながら関わる必要がある。「自分がされていやなことは人にしない、言わない」ことを対話を通して児童に気付かせていけるように、より職員間の情報共有を密にし、チームで対応できるように継続して指導にあたりたい。

【年度(→次年度)】

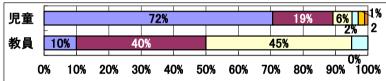
	評価指標	実践課題	主な取組		評価B
				前期	年度
3	自他の理解	(4)自己有用感の育成	人間関係づくり(学級活動など)、縦割り班活動、集会活動、なかよしアップタイム、一人一人のよさを認め合う場の設定(キラッとさんロードの設置)	3	
		(5)道徳性、道徳的な判断力等の育成	道徳科の授業の充実、各教科等との関連的指導の充実		
4	児童理解	I	職員会議での情報交換、教育相談、校内特別支援委員会、アンケートや調査の実施と事後指導への活用、「ホウレンソウカード」による校内生徒指導体制の強化、チーム による即時対応	3	

〔3に関するデータ〕

要と学

〇友達と仲良く生活しているか。

(平均値 児童4.55 教員3.55)



◇キラッとさん(帰りの会での発表紹介、学校・お家キラッとさんの活動) ⇒キラッとさんロードへの掲示

- ◇なかよしアップタイム(縦割り班による活動)の実施(学期に1回)
- ◇ふれあい集会、1年生と仲良くなろう縦割り班集会など各種集会や 縦割り班掃除・全校おにごっこでの交流や関わり

100%

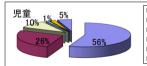
教員

□大変良い□良い□だいたい良い□やや不十分□不十分

■わからない

○道徳の授業は自分にプラスになっているか。(児童4.14)

(平均値 教員3.40)



○道徳の時間の充実

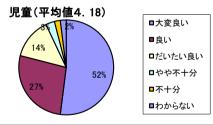
60%

□とても □なっている □ややなっている □あまり □まったく □わからない

- 〔4に関するデータ〕
- 学校全体での生徒指導の充実と 支援を要する児童への指導対応



○ あなたは友だちの良いところや頑張ったことを見つけてあげているか。



◇教育相談

- ◇いじめ調査アンケートと教育相談
- ◇職員会議での情報交換
- ◇特別支援教育委員会の開催
- ◇いじめ・不登校対策委員会の開催 と機を逃さない対応



「キラッとさんロード」 ~1年間の積み重ねる~



縦割り班で行った「なかよしアップタイム」 ~イベント委員会主催~

ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
食や運動を通して、健康 や体力への関心をもち、 望ましい生活習慣を形 成しようとしている。	前期	おおむね 良好		早寝早起きの基本的な生活習慣が確立されているという意見が大多数である。健康は身体があってこその学校作りができてきいると思う。体を動かし、よく食べて、心身共に健康な児童の育成に今後も努めてほしい。メディアコントロールについてマイルールを作る、守ることに学校としての取組を期待している。
	年度			

の 改 善 策 の

要

ع

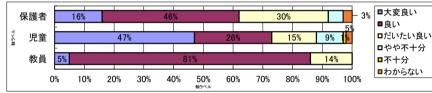
【前期(→年度)】運動する機会の保障だけでなく、「健康」に関わる広い分野(運動、食育、保健衛生等)を踏まえた「体力の向上」をねらいとしている。 城南スポーツタイムの種目は、城南スポーツ委員会の児童が体力向上の観点から話し合い、内容を決めている。5月は「跳」の運動能力の向上とロー ブジャンプとの関連を狙い、長縄跳びを取り入れた。また、昨年度に引き続き「全校鬼ごっこ」を実施した。異学年交流や運動の機会の確保の点から、 今年度はJタイムの時間を使っての全員参加の活動としている。後期も安全面に配慮しながら、継続して全校児童が運動の習慣を身に付けられるよう に取り組んでいきたい。食育に関することでは、バランスペロリン週間」を行い、少しでも好き嫌いせずに栄養のバランスを考えながら食べるように指導 した。後期も実施し、前期からどれくらい食べられるようになったのかを実感させ、自信を付けさせていきたい。保健衛生については、児童会で議論し定 めたメディアコントロールについての約束事(「ぼく・わたしたちのマイルール」)と、9月のメディアコントロール週間を関連付け、メディアとの向き合い方 を考える機会の確保や取組を行っていきたい。

【年度(→次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B		
计测组标	天以际起	土分収組	前期	年度	
5 保健衛生・	(7)健康的な生活習慣の向上	メディアコントロール週間、清潔カアップday、ガラガラあわあわタイム、保健だよりの工夫、委員会活動、家庭との連携、養護教諭の保健指導	3		
食育	(8)望ましい食習慣の形成	食育および給食指導、委員会活動、バランスペロリン週間、給食試食会、わんだふる給食PR	ŭ		
6 体力つくり	(9)継続的な体力つくりの実践	パワーアップ運動と教科体育の充実、城南スポーツタイム①~③、外遊びイベント	4		

〔5に関するデータ〕

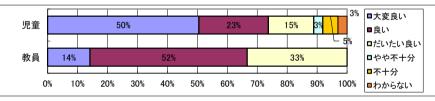
〇早ね・早おきをし、朝ごはんをたべているか。 (平均値 保護者3.64 児童4.04 教員3.90)





中学生と一緒に、メディアコントロールの呼びかけ。

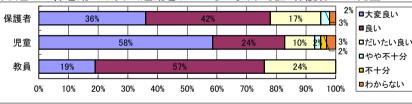
〇給食では好き嫌いをしないで食べているか。 (平均値 児童3.99 教員3.81)





[6に関するデータ]

○自ら進んで体を動かし、よく運動をしているか。(平均値 保護者4.05 児童4.24 教員3.95)



1年生の初給食。「バランスペロリンを」目指します。

☆全校鬼ごっこ/縄跳びチャレンジ 5月 毎週水曜日 2学期は9月に実施予定 ※12月は積雪のため縄跳びを実施予定

☆城南スポーツタイム5月 長縄跳び(毎日の中休み)2学期はキャッチボール、バスケットボールなどを実施予定

- 〇全校児童の運動時間の確保ができた。
- ○学年関係なく仲良く楽しく運動できた。
- 〇安全面を考慮しながら、グラウンドの範囲を決めて実施することができた。
- ○力を合わせてやり遂げる喜びを実感す る機会になった。
- ○「教育長杯ロープジャンプX」とも関連付けて取り組むことができた。
- 〇安全面を考えながら、児童主体で体力 の向上につながりつつ、楽しく運動できる 内容を考えていきたい。



児童全員参加で楽しく運動できた全校鬼ごっこ。グラウンドで、思いっきり身体を動かしました

ア 児童の状況

Ⅳ 基礎学力

17 李恢于力				
児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
主体的に授業に臨み、 基本的学習習慣や学び 方を身に付けながら、学	前期	おおむね 良好		児童の状況に合わせて「学習スタンダート」」をもとに、職員一丸となって取り組んでいるが、定着には時間がかかるので、継続して指導してもらいたい。進んで発表している児童が多いが、なかなか手が挙がらない児童もいる。もっと増えるように励ましてほしい。
力を向上させようとして いる。	年度			

と自 【前期(→年度)】(10)について→基本的学習習慣の定着のため、全校で共通した指導ができるよう、4月に「学習スタンダード」」をもとにオリエンテー学 こ ジョンを行った。しかし、「チャイムで学習を始める」、「返事ははいっ!」など、基本的なことの定着に時間がかかっている。 喫緊の課題として各学年、各 学級に必要な手立てを考え、全校で取り組んでいきたい。(12)について→今年度も国語科と関連させながら朝の会やJタイムにスピーチタイムを設定し、、テーマや課題について職員間で情報交換しながら話す・聴く力の向上に努めている。6月に行った学年スピーチタイムでは、学級外の友だちとも交流し、自分の考えを意欲的に話す子どもの姿を見ることができた。

改の 善概 策要

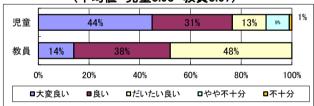
【年度(→次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	自己記	评価B
正 1 1 1 1 1 元	大风杯烟	土な状地	前期	年度
	(10)基本的学習習慣の定着	学習のきまりの指導、家庭学習の奨励(全校ノート展の実施)		
7 学習への	(11)基礎・基本の確かな定着	ねらいと評価、振り返りを大切にした分かる授業づくり、全 校一斉テストの実施	2	
取組	(12)言語活動の充実	授業における学び合い、シンカタイムの充実、ICTスキルの向上と活用、スピーチタイムと反応言葉の活用、振り返りの充実	3	
	(13)読書活動の充実	読書・読み聞かせの推進、図書館経営、情報活用の充実		

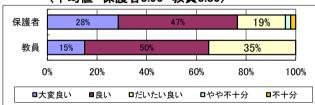
[7に関するデータ]

〇学習のきまりを守って学習しているか<u>。</u>

(平均値 児童3.98 教員3.67)



〇基礎・基本の確かな定着が見られるか。 (平均値 保護者3.90 教員3.80)



〇家庭学習をがんばっているか。

56%

■とてもがんばっている

■がんばっている □まあまあ □あまり

(平均値 児童4.18) (平均値 保護者3.61)

- **平均値 保護者3.61)** ◇学習のきまりの徹底|
 - 「学習スタンダードJ」 の共通理解と指導
 - ◇家庭学習ノート紹介
 - PTAに合わせて ノート展開催

〇言語活動の充実を図っているか。 (平均値 教員3.65)

- ・主に国語科を中心にした学び合い
- ・学習内容や発達段階に応じた学習の工夫
- ・スピーチタイムの実施やシンカタイムの話合い

〇読書習慣の定着

(平均値 児童4.03 教員4.19)

〇授業で、進んで発表や反応をして いるか。(平均値 児童3.73)

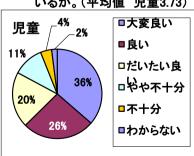
〇個に応じた学習で勉強が分かるようになったか。

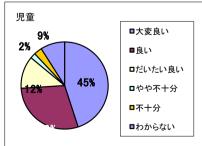
児童

12%

28%

(平均値 児童3.84)







個に応じた学習の取組の例

- ・3~6年に算数の2C3Tまたは1C2Tを実施
- ・放課後や長期休業中の個別指導
- •ICTの活用

~スピーチタイム~ テーマをもとに自分の考えを伝えている イ 学校運営 の状況

自己評	きわめて良好	<u> </u>	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
価Aと	良好	日巳計	4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
外部評	おおむね良好	価Bの 評価基	3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
価の評	やや不十分	進	2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
価区分	努力を要する] '	1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

V 組織運堂

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
重点目標の具現化に向けて、教職員がチーム城南として連携し、組織的・	前期	おおむね 良好	あめむね 良好	情報の共有化については、後期も継続して取り組んでもらいたい。学担も1組と2組を交替しながら、子どもたちの指導に当たっているので「気付き」もあるというプラス面で効果があるということなので、継続して実践してもらいたい。ふるさとキャリアに関しては「ふるさとを知る」という視点からもいろいろな体験をさせてほしい。ICTに関しても、ICTありきにならないよう心がけているということから、子どもたち主体で有効活用してほしい。
主体的に取り組んでい る。	年度			

と自 【前期(→年度)】経営方針を全職員で共通理解し実践しようと努めている。各指導部が中心となって新しい取組を提案するなど、先生学己 方も常に前向きである。今後は、子どもが城南っ子基本3行動について考え、自分たちがよりよい学校をつくっていくのだという気概を育てたい。ふるさとキャリア教育については、テーマは同じでもアプローチを変えるなど、工夫が見られる。今年度も学びの発信に重点 を置いているため、客観的に評価していただく場面を設け、活動の改善につなげたい。授業については、教師の教材研究をしっかりと でい、ねらいの達成にむけ、これまで培ってきたICTスキルをより効果的に活用するなど、基礎基本の定着に努めていきたい。

善概 策要 【年度(→次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
计测组标	大以 际 战	土谷秋祖	前期	年度
8 学校の明確	(14)経営方針や重点目標、施策の明示	職員会議、PTA総会等での周知、校報での明示	1	
な経営方針	(15)城南っ子基本3行動に向けた組織的な実践	指導部による具体的な施策の提案、学年部による継続した実践	4	
9 教育課程の 編成と実施	(16)特色ある教育課程の編成と実施	ふるさと・未来をつくる力を意識したふるさとキャリア教育の 推進	3	
10 職員研修		ICTを取り入れた授業研究、校内研・諸研修への参加、学年部での教材研究	3	

〔8に関するデータ〕

〇経営方針や重点目標、施策の明示(平均値 教員4.10)

教員 大変良い(24%) 良い(62%) だいたい良い(14%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

〇城南っ子基本3行動に向けた組織的な実践をしているか。(平均値 教員4.00)



城南つ子基本3行動

- 1 いつでもよく聴き、相手の話に反応します。
- 2 どこでも安全に気を付け、命を守ります。
- 3 だれにでも気持ちのよいあいさつと返事をします。

[9に関するデータ]

〇ふるさとキャリア教育の推進(平均値 教員3.95)

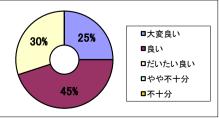


〇今年度の活動例

- ・3年 わがまち大館調査隊:大館市の自然、行事や伝統等の調査
- ・4年 やさしい大館つくり隊:エコタウン大館やバリアフリー施設等の 調査、講話や体験
- 5年 プロジェクトJ V: 大館で働く方々からの講話や職場体験
- ・6年 プロジェクトJファイナル: 大館の食をCMで発信

〔10に関するデータ〕

○授業改善と指導力の向上に向けた研修(平均値 教員3.95)



〇授業研究会の実施(予定含む)

6月:算数科研究授業(2年 4年) 9月:総合的な学習指定訪問(3年)

11月:算数科研究授業(6年)



学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携									
学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント					
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	良好		児童数は年々減少しているが、学校内外で児童が関わる大人の数は増えているように見受けられ。読み聞かせ等、継続している活動が読書の関心を高め、児童の世界を広げることにもつながっていると感じる。今後も学校地域応援団として協力を呼びかけ、児童の新しい面を引き出し、育てる場の一つと考えたい。					
	年度								

【前期(→年度)】学年だより(2週間に1回)や学校だより(月1回)の発行を行っている。また、おたより等を学校ホーム 校自 -ジへ掲載したりブログ(ほぼ毎日更新)でも子どもたちの学校での様子を紹介したりしている。印刷すると写真が不 σ =明瞭になるので、カラー版のホームページでの閲覧も勧めている。保護者からは、見たいときにおたより等を見て確認で 改評 きると好評である。また、様々な学習場面(正課クラブや朝の読み聞かせ、生活科や総合的な学習の時間、学校行事、 善価 登下校の見守り等)で保護者や地域の方々に積極的に協力を求め、学校だけではできない活動を安全で充実したもの 策の にすることができた 概

要 学

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
計画相採	天 以际起	工役税値	前期	年度
11 情報の受 発信		校報・学年通信の充実、ホームページによる情報発信、PTA諸会合、地域訪問、個人面談、民生委員と語る会、保護者アンケート	4	
12 地域の教 育力の活用	(19)PTAとの連携強化	学校行事・諸活動等へのPTAの参画及び協力(一人一役・挨拶運動)	1	
	(20)コミュニティースクールの趣旨を生かした教育力の活用	地域学習の充実、保護者・外部講師による学習支援、学校運営協議会	7	

〔11に関するデータ〕

〇行事や子どもたちの学校での活動の様子を分かりやすく伝えているか。(平均値 保護者4.01 教員4.24)



〇学校ホームページ 学校報毎月更新 学年だより隔週更新 〇ブログの更新 随時

- ○学年だより 2週間に1回発行 〇学校報 毎月24日頃発行
 - ※各町内へ回覧用に配付 ·部の町内では全戸配付

〇授業参観 4月13日 7月5日

〇祖父母参観 7月5日

〇個人面談 7月23日~26日(全児童対象)

その他 随時





〔12に関するデータ〕

〇学校行事や諸活動に保護者の協力を得るよう、十分な働きかけをしているか。(平均値 保護者3.86 教員4.14) 大変良い(19%) 良い(48%) だいたい良い(28%) やや不十分(2%) 不十分(0%) 大変良い(24%) 良い(67%) だいたい良い(10%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

○家庭や地域の教育力を、学校の教育活動に積極的に活用しているか。(平均値 保護者4.15 教員4.00) 〈学校支援活動事業〉

・学習指導への補助・・・読み聞かせ(毎週木曜日 ※読み聞かせボランティア) 校外学習の引率補助



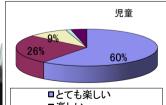


将棋クラブ~将棋のこま の動かし方を教えてもら



鳳凰山登山(保護者のポランティア)

- ・正課クラブ活動・・・英語、パソコン、お茶、ダンス、手話、将棋
- ・行事等への支援・・・あいさつ運動、交通安全指導
- ·PTA研修会···大丸拓郎さんの講演



- ■楽しい
- □まあまあ楽しい
- □あまり楽しくない
- ■楽しく<u>ない</u>

学校の外に出かけたり、地域の方と-緒に勉強や活動したりするのは楽しい ですか(平均値 児童4.25)